９就職試験問題（SPI含む）パートⅢ

１　次の空欄に入る最も適当な語句を選び、記号を○で囲め。

①　科学の力が大事だといっても、病人に次々と注射して、さらに病気を悪化させるようなことになってはなんにもなりません。まず、一つ一つの問題を、あらゆる角度から検討する必要があります。だから、「［　　　　］にまかせてしまってはいけない」のです。市民が一人一人、自らの頭で考えて意見を述べる、それによって専門家には見えない側面が明らかになるのです。

（ 『科学の考え方・学び方』）

ア　国家の代表者　　イ　市民一人一人

ウ　科学の専門家　　エ　病気の治療薬

②　「日暮れて道遠し」「少年老いく学成り難し」というようなことがのんびり言えるということは、「日が没する前に道を踏破できなくても、別に構わない」、「学成らぬままに死んでも、特段悔いはない」という諦念と裏表です。「道」という概念は実は「［　　　　］」という概念とうまく整合しないのです。

（ 『日本辺境論』）

ア　決断　　イ　深化　　ウ　戦略　　エ　成就

２　次の空欄に該当するものをそれぞれ選び、記号で答えよ。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ⑦ | ⑥ | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |  |
| アンナ・カレーニナ | 女の一生 | 魔の山 | 老人と海 | ハムレット | ドン・キホーテ | 神曲 | 作品名 |
|  |  |  |  |  |  |  | 作者名 |
|  |  |  |  |  |  |  | 国名 |

作者名

ア　トルストイ

イ　ダンテ

ウ　セルバンテス

エ　モーパッサン

オ　トーマス・マン

カ　シェークスピア

キ　ヘミングウェイ

国名

ａ　スペイン　　ｂ　イギリス　　ｃ　フランス　　ｄ　ロシア

ｅ　イタリア　　ｆ　アメリカ　　ｇ　ドイツ

３　次の川柳に最も関係の深い人物を下から選び、○で囲め。

　①　実のならぬ花で実のある返事なり （・太田・）

　②　一門はどぶりどぶりとし （・平・平）

　③　五条ではぶたれでぶちのめし 　 （・・）

　④　真っ白な夜に真っ黒な所へ逃げ （・・北条）

　⑤　九十九はみ一首は考える 　 （・・）

４　次の―線部の表現を訂正するのに最も適当なものを選び、記号を○で囲め。

①　近年のわが国の社会では、新しい人間関係が確立しかけていて、なお、すでに、安定に達している。人と人との関係はどうしてもぎこちないものになり、摩擦を生じやすい。

ア　すでに、変動が始まっている　　イ　いまだ、動揺は生じていない

ウ　すでに、動揺が生じている　　　エ　いまだ、安定には達していない

オ　いまだ、変動が始まっていない

②　相手によって、人を見たら泥棒と思えの性悪説で行くべきか、世間に鬼はないの性善説によるかを直観的に決定できるようにならないと一人前である。

ア　論理的に決定できるようになって

イ　直観的に選択できるようになって

ウ　論理的に選択できるようにならないと

エ　直観的に決定できるようになっても

オ　直観的に選択できるようにならないと

③　幸不幸を測るとき、なにを標準にするかといえば、まず他人である。かならず他人と比較する。他人と比較して、そのまま自分の幸と不幸は決まらない。

ア　そのうえで自分の幸と不幸を決めやすい

イ　そのくせ自分の幸と不幸を決めやすい

ウ　そのうえで他人の幸と不幸を決めやすい

エ　そのくせ他人の幸と不幸は決まらない

オ　そのまま自分の幸と不幸が決まらない

５　次の四字熟語と関連の深いものを後から選び、記号で答えよ。

①　 （　　　）

②　羊頭 （　　　）

③　猛進 （　　　）

④　 （　　　）

⑤　牛飲馬食 （　　　）

⑥　汗牛充棟 （　　　）

⑦　鶏口牛後 （　　　）

ア　の尾よりの頭。

イ　蔵書が多い。

ウ　看板倒れ。

エ　最後に加える仕上げ。

オ　油断なく機会を狙う。

カ　向こうみずな行動。

キ　大量に飲み食いする。

６　次のことわざと同意、もしくは反対のものを後から選び、記号で答えよ。

①　泥中の （　　　）

②　にも筆の誤り （　　　）

③　子を知るは父にくはなし （　　　）

④　医者の （　　　）

⑤　にらずんばを得ず （　　　）

ア

イ　朱に交われば赤くなる

ウ　の川流れ

エ　親の欲目

オ　危うきに近よらず

【解答】

１　①ウ　②エ

２　①イ・ｅ　②ウ・ａ　③カ・ｂ　④キ・ｆ

　　⑤オ・ｇ　⑥エ・ｃ　⑦ア・ｄ

３　①太田道灌　②平知盛　③弁慶　④吉良上野介　⑤藤原定家

４　①エ　②イ　③ア

５　①エ　②ウ　③カ　④オ　⑤キ　⑥イ　⑦ア

６　①イ　②ウ　③エ　④ア　⑤オ

ポイント

３　①「山吹のミ（実）ノ一つだになきぞ悲しき」と歌いかけられた太田道灌

　　 は、「蓑がない」の意がくめず、恥をかいた。

　　②安徳天皇を奉じた平氏一門は壇ノ浦の海に沈んだ。率いたのは平知盛。

　　③五条の橋で牛若丸（義経）に負けた弁慶は、後年安宅の関突破のために

変装した主君を「ぶちのめし」た。

　　④雪の日、赤穂浪士に襲撃された吉良上野介は炭小屋に逃げたが発見され

た。

　　⑤『小倉百人一首』の撰者は、歌人の藤原定家。

６　①泥中の蓮＝悪い環境にあっても、影響されず清らかさを保っている。

　　　朱に交われば赤くなる＝人は関わる相手や環境によって、良くも悪くも

なる。

　　②弘法にも筆の誤り＝その道にすぐれている人でも、時には失敗すること

がある。

　　　河童の川流れ＝どんな達人でも失敗することがある。

　　③子を知るは父に如くはなし＝子の長所も短所も父親が一番よく知ってい

る。

　　　親の欲目＝親は子をひいき目に見てしまうものだ。

　　④医者の不養生＝自分は実行しない。

　　　紺屋の白袴＝自分のことをする暇がない。

　　⑤虎穴に入らずんば虎子を得ず＝危険を冒さなければ、功は立てられない。

　　　君子危うきに近よらず＝君子は身を慎んで、危険を冒さない。